

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 16 日 (2007.8.16)

【公開番号】特開 2006-23351 (P2006-23351A)
 【公開日】平成 18 年 1 月 26 日 (2006.1.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-004
 【出願番号】特願 2004-199075 (P2004-199075)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 9/08 3 7 1

G 0 3 G 9/08

G 0 3 G 9/08 3 7 4

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 29 日 (2007.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】

前記ハイドロタルサイト粒子の添加量が、トナー粒子 1 0 0 質量部 に対して、0 . 0 3 ~ 3 質量部であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のトナー。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

すなわち、本発明は以下のとおりである。

(1) 少なくとも結着樹脂と着色剤とを含有するトナー粒子と、該トナー粒子表面に存在する無機微粉末とを含むトナーにおいて、該無機微粉末のうちの少なくとも一部が 1 ~ 3 0 質量% のジメチルシリコンオイルで表面処理されているハイドロタルサイト粒子からなり、トナー粒子の平均粒径は 4 ~ 9 μm であり、トナー粒子の体積基準粒径の変動係数および個数基準粒径の変動係数はともに 4 0 以下であり、円相当径が 0 . 6 ~ 2 μm にあるトナー粒子の含有量は 5 ~ 3 5 個数% であり、トナー粒子の平均円形度は 0 . 9 5 ~ 0 . 9 9 であることを特徴とするトナー。

(2) 前記ハイドロタルサイト粒子が、ステアリン酸でも表面処理されていることを特徴とする (1) に記載のトナー。

(3) 前記ハイドロタルサイト粒子が、1 ~ 3 0 質量% のジメチルシリコンオイルとメチルハイドロジェンシリコンオイルとの混合物で表面処理されていることを特徴とする (1) 又は (2) に記載のトナー。

(4) 前記ハイドロタルサイト粒子の疎水化度が、3 0 ~ 9 5 % であることを特徴とする (1) ~ (3) のいずれかに記載のトナー。

(5) 前記ハイドロタルサイト粒子の添加量が、トナー粒子 1 0 0 質量部 に対して、0 . 0 3 ~ 3 質量部であることを特徴とする (1) ~ (4) のいずれかに記載のトナー。

(6) 前記ハイドロタルサイト粒子の B E T 比表面積が、2 ~ 1 5 m^2 / g であることを特徴とする (1) ~ (5) のいずれかに記載のトナー。

(7) 前記ハイドロタルサイト粒子の平均 1 次粒径が、 $0.1 \sim 1 \mu\text{m}$ であることを特徴とする (1) ~ (6) のいずれかに記載のトナー。

(8) 前記ハイドロタルサイト粒子の乾燥減量が、 $0.1 \sim 5 \%$ であることを特徴とする (1) ~ (7) のいずれかに記載のトナー。

(9) 前記トナー粒子に対して、前記ハイドロタルサイト粒子を含む無機微粉末が、総量で $0.5 \sim 5$ 質量%含有されていることを特徴とする (1) ~ (8) のいずれかに記載のトナー。